

ジャパン・グリーンボンド・アワード

募集要領

2018年12月

環境省

1.趣旨・目的

国内発行体によるグリーンボンド発行は、2014年に日本政策投資銀行が2.5億ユーロのグリーンボンドを発行して以降、徐々に増えてきました。2017年に10件、2,176億円であった発行量は、2018年に大きく増加し、28件、4,529億円(2018年11月末現在)となっています。

我が国においてもグリーンボンドへの関心は、発行体・投資家の双方において高まりつつあり、この動きを更に加速させ、グリーンボンドの発行・投資を拡大させていく観点から、グリーンボンド発行に関連する先進的取組等を表彰し、その取組を広く社会で共有することを目的として、環境大臣が表彰するジャパン・グリーンボンド・アワードを実施致します。

2.募集内容

(1) 募集期間

2018年12月6日(木)～2019年1月18日(金) 17時

(2) 募集部門

グリーンボンド市場の発展への貢献や環境改善効果等、先進的・模範的な取組の特徴をふまえて表彰するために5部門を設定しました。部門ごとに対象となる企業等の種別が異なっております。各部門から1～2件の企業・団体を表彰予定です(応募状況により変動します)。

部門名	概要	対象となる企業等の種別			
		発行体	ストラクチャリングエージェント	外部レビュー機関	投資家
① ジャパン・グリーンイノベーション部門 (GIInn 部門)	新しいアイデアによって、国内グリーンボンド市場の発展(新規セクターでの発行、新たな投資家の開拓、ボンドの質の向上、発行にかかる効率性の改善等)に貢献した企業等	○	○	○	
② ジャパン・グリーンインパクト部門 (GImp 部門)	環境改善効果(インパクト)があるグリーンボンド事業や環境インパクト評価に積極的に貢献した企業等	○	○	○	
③ ジャパン・グリーンインベストメント部門 (GIInv 部門)	積極的に国内グリーンボンド投資を行った投資家				○
④ ジャパン・グリーンコントリビューター部	グリーンボンド市場の発展に数・質的な面を含め総合的な貢献		○	○	

門 (GCon 部門)	をした企業等				
⑤ ジャパン・グリーンパイオニア部門 (GPio 部門)	日本のグリーンボンド市場発展の早い段階で、市場拡大に貢献した企業等	○			

(3) 応募対象・資格

- グリーンボンドの発行に直接的に関与した、発行体・ストラクチャリングエージェント・外部レビュー機関あるいはグリーンボンドへ投資した投資家であること。取組内容に応じて同一グリーンボンド発行に関わった企業・団体による連名での応募は可能。但し、企業・団体別に評価を行いますので、連名で申請した企業・団体のすべてが同時に表彰されない可能性がありますのでご了承ください。
- 2018年1月1日以降に発行されたグリーンボンドに関する発行・投資実績を持つ企業・団体であること。ただし、⑤ジャパン・グリーンパイオニア部門については、2017年12月31日以前に発行されたグリーンボンドを対象とします。
- 応募内容に関連するグリーンボンドの発行・投資について、取組内容の公表が可能な企業・団体であること(公表範囲は個別に調整可能)。
- 応募内容が表彰された場合、2019年3月1日に東京国際フォーラムで開催する「グリーンボンド・シンポジウム(仮)」内で実施する表彰式に参加し、取組内容について簡単なプレゼンテーションが可能な企業・団体であること。
- 同一の企業・団体による複数の部門への応募は含めて可能。

(4) 評価基準

本アワードによりグリーンボンド市場の発展に寄与し、社会的な関心を高めていく観点から、応募された企業・団体の取組を以下の5項目にて評価します。

基準	概要	重点的に評価する部門				
		①GIInn 部門	②Gimp 部門	③GInv 部門	④GCon 部門	⑤GPio 部門
新規性	資金使途や発行スキーム等において新規性や独自性があるもの	○			○	○

普及性	積極的な情報開示や取組内容の広報等、普及啓発に貢献・取組んだもの	○	○	○	○	○
環境性	環境改善効果の定量的な評価やその情報開示に取組んだもの	○	○			
多様性	グリーンボンド市場の裾野の広がりにつながる起債や投資に取組んだもの		○	○	○	○
投資実績	数多くの取組実績があるもの			○		

(5) 選定方法

学識経験者および環境金融関連の有識者から構成される「ジャパン・グリーンボンド・アワード選定委員会」において、応募内容を評価します。

評価にあたっては委員ごとに評価基準をふまえた評価を行い、それらの評価を持ち寄って行う選定委員会の場で合議により各部門の受賞企業・団体を決定します。

○ジャパン・グリーンボンド・アワード選定委員会 選定委員

足立 直樹 氏 (株式会社レスポンスアビリティ 代表取締役)

有馬 良行 氏(世界銀行財務局 駐日代表)

島 義夫 氏(玉川大学 教授)

夫馬 賢治 氏(株式会社ニューラル 代表取締役 CEO)

水口 剛 氏(高崎経済大学 教授)

3.応募方法

(1) 応募締切

2019年1月18日(金) 17時 必着

(2) 応募書類

- ① 以下の書類を一つの封筒に入れて提出して下さい。封筒の宛名面には、「ジャパン・グリーンボンド・アワード 応募書類」と記載してください。
 - ・【必須】 応募申請書（様式1） <12部>
 - ・【任意】 参考資料（記載内容の根拠となる・理解を深められるもの） <12部>
※資源節約の観点から、会社紹介パンフレットなど真に必要と思われない資料の送付はご遠慮ください。
 - ・様式1および参考資料の電子ファイルを保存した CD-R <1枚>
- ② 提出された応募書類は本アワードの評価以外の目的には使用しません。
なお、応募書類は評価結果に関わらず返却しません。
- ③ 応募書類等の作成費等の応募に要する経費は応募者の負担とします。

(3) 応募書類の提出先

応募書類は郵送・宅配便等により以下に提出して下さい。

〒240-0115 神奈川県三浦郡葉山町上山口 2108-11

公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES)

「ジャパン・グリーンボンド・アワード」担当: ファイナンスデスクフォース

- ※ 持参、FAX 及び電子メールによる提出は受け付けません(ただし、郵送に加えて、参考として電子メールでファイルサイズを最小にした上で件名に『「ジャパン・グリーンボンド・アワード」応募書類提出』と記載し、fin-iges@iges.or.jp まで応募書類を送付してください。)
- ※ 資料に不備がある場合は、評価対象になりません。募集要領等を熟読の上、注意して記入してください。
- ※ 締切を過ぎての提出は受け付けません。郵送等の場合、配達の場合で締切時刻までに届かない場合もあるため、期限に余裕をもって送付してください。
- ※ 応募者の個人情報、本アワードの評価及び運営に必要な範囲内で利用し、第三者へ提供することは一切ありません。応募者の同意なく、利用目的を越えて利用することはありません。

(4) 選定結果の連絡

選定された応募企業・団体へは2019年3月1日の表彰式に先立って2019年2月上旬ごろを目途にご連絡いたします。表彰式への出席者の調整やプレゼンテーションの内容等について相談させていただきます。

選外となりました応募企業・団体については同じく2019年2月上旬ごろを目途にご連絡いたします。

4.問い合わせ先

本アワードに関する質問・問い合わせは、2018年12月17日（月）12：00（正午）までに、下記窓口まで電子メールにてお願いいたします。受け付けた質問およびその回答については、個別に回答するとともに内容に応じて2018年12月18日以降にグリーンボンド発行促進プラットフォームで公表する予定です。

〒240-0115 神奈川県三浦郡葉山町上山口 2108-11

公益財団法人 地球環境戦略研究機関（IGES）

担当：ファイナンスタスクフォース

E-mail アドレス：fin-iges@iges.or.jp

以上